

～あらすじ～

舞台は 1983年アメリカ合衆国の北フィラデルフィア。

古びたアパートの一室に、孤児の兄弟が身を寄合って暮らしている。

不良の兄トリートと引きこもりの弟 フィリップ。

ある日、ふたりの前に謎の紳士ハロルドが現れ、ひよんなことから

3人の共同生活が始まる。

自身も孤児院で育ったというハロルドは、彼らを”デッド・エンド・キッド（行き止まりのこども）”と呼び、元気づけてあげようと手を差し伸べる。

Touch（触れる）ことを通して、3人の孤独を抱えた男たちが、自分の生きる道を探していく。

東京演劇集団 **風** 「自由に風のようにものをつくる」という思いを込め、今の時代に社会において演劇のなすべきことは何か”という問

いととともに1987年に創立。

1999 年には、東京・東中野に専属劇場〈レパトリーシアター KAZE〉を建設。同時に群馬県みなかみ町には専属の俳優・スタッフのワークショップの場、またレパトリー作品のストックヤードも兼ねた 演劇工房も併設し、演目は繰り返し上演を重ね、観客との対話のなかで質の高い舞台を育てていくことを目的とした〈レパトリーシステム〉を採る劇場として本格的な活動を開始。

『肝っ玉おっ母とその子供たちーあとから生まれてくる人たちに』

（作：ベルトルト・ブレヒト）、『星の王子さま』（作：サン＝テグジュペリ）、『ジャンヌ・ダルクージャンヌと炎』（作：マティ・ヴィスニユック）など作品多数。